

短編映像コンペ「サンタマニア映画祭」

中大生が主体となり開催

私は、総合政策学部教授として、都市政策、具体的には多摩地区をモデルケースとした研究活動や政策提言をしている。

先日、慶應・早稲田、そして本学学生諸君が私の元を訪ねて来た。私を訪ねて来た理由は、「立川でショートフィルムのみ映画祭を開催したく、是非先生のお力をお借りしたい」ということだった。

現在、多摩地区を結びつけ、発展させるという目的をもった「学術・文化・産業ネットワーク多摩」というさまざまな機関がネットワーク型で共同活動を実現する「場」を立ち上げるべく、準備会を参加45大学をはじめ中央省庁ならびに自治体や企業と一体となって結成運営している。

そして、私の研究課題である都市政策の主要テーマである「中心市街地の活性化」の有効な手段として、この学生主体の映画祭は格好の研究対象でもある。私は、立川市TMO研究協議会会長としての立場だけでなく、一人の都市政策研究者としてこの映画祭には多大な関心を寄せ、協力を約束した。

また、この映画祭には、「学術・文化・産業ネットワーク多摩準備会」の協賛も決定されており、多摩地区の多くの企業・官庁の協賛も約束されている。もし、本学の学生諸君を含め若者達の手により、今後この映画祭が毎年開催されることとなれば、立川市のみならず、多摩地域にもたらす経済効果や知名度向上効果は計り知れないものとなるに違いない。

この映画祭に関する学生たちの行動力は目覚ましく、広告批評（十一月号）・毎日新聞（十月十日）・産経新聞（十月四日）の各マスコミ媒体にて既に取り上げられているという状況である。

私の基礎ゼミ生も参加するこの企画に、是非一人でも多くの中大生に参加してもらえんことを願っている。

このサンタマニア映画実行委員会では、現在、中大生の実行委員の募集・作品の募集・当日の観覧者の募集を行っている。皆さんに奮って参加していただきたい。

（総合政策学部教授 細野助博）

『サンタマニア映画祭』のご案内



本映画祭は、2002年2月の開催に向け、中央・早稲田・慶応・青学・お茶の水大学等の学生によって主催される映画祭です。15分のショートフィルムを募集し、二次選考を通過すれば、立川シネマシティで上映されます。そして上映後の観客投票により優勝が決定します。優勝賞金は30万円、優秀作品はソネットウェブ上にて上映されます。

本実行委員会では、映画祭の告知・作品募集と共に、中大生の実行委員を募集しています。イベントに興味のある方、映画に興味のある方、マスコミ・映画業界・通信業界に就職を考えている方は、ご気楽に<中大幹事福留>にご連絡下さい。 090-7625-3241 (福留) / tome-m@mui.biglobe.ne.jp

作品応募期間：11月1日～1月21日

HP：<http://www.santamania.jp/>